

認知症の方の見守りを支援！



詳しくはこちら

☎ 伊奈庁舎介護福祉課（内線 4306）

認知症になると、今いる場所が分からなくなり、自宅に帰れなくなってしまうことがあります。行方不明となった場合には、すぐに保護することが重要です。

本市では、認知症の方の見守りを支援する事業を実施しています。利用を希望する方は、介護福祉課窓口でお申し込みください。

①「見守り QR コードシール」で、「おかえり」までサポート！

認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業

認知症の方の情報を登録すると、行方不明となった場合に保護につなげる「見守り QR コードシール」をお渡しします。費用は無料です。

※登録された情報は、警察などと共有します。

見守り QR コードシールって？

衣類や持ち物に貼り付けられる、QR コード付きのシールです。QR コードをスマートフォンなどで読み取ることによって、保護につなげることができます。



活用の流れ



①道に迷っていると思われる方を見かけたら、まずは「どうされましたか？」と優しく声を掛けましょう。



②衣類や持ち物に貼ってある QR コードを読み取ってください。コールセンターの番号と、利用者 ID が表示されます。



③コールセンターへ電話し、利用者 ID を伝えてください。



④コールセンターから警察や親族などに連絡し、保護につなげます。



▶対象者

- 認知症の方および介護しているご家族が市内在住である方
- 認知症が原因で行方不明になる可能性がある方
- ペースメーカーを装着していない方
- 上記の①のサービスに登録している方

② GPS 端末で、いつでもどこでも安心見守り！

認知症高齢者等探索支援サービス

認知症の方を介護しているご家族を対象に、GPS 端末を貸し出します。認知症の方が GPS 端末を携帯することで、行方不明となった場合でも、スマートフォンやパソコンなどで現在位置を確認でき、保護につなげることができます。

GPS 端末は、ココセコム（持ち運びタイプ）、どこさいる（持ち運び+専用シューズに収納できるタイプ）から選べます。

費用など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

③もしもの時に保険で備える！

認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症高齢者の方などが、誤って他人の物を壊してしまった、線路に立ち入り電車を止めてしまったなど、日常生活での偶然の事故により法律上の損害賠償責任を負った場合の補償（上限 3 億円）を行います。費用は無料です。

▶対象者：上記の①または②のサービスに登録している方

今年度スタート！

